

GELCHOPの



レッツD.I.Y.

月イチでD.I.Y.なものづくり。

SKIの板も、
板である。

Product_name

SKIER'S BENCH

Material

- ・ヴィンテージのスキー板 4セット
- ・スチールフラットバー
t=3mm (50×5000mm) 1枚
- ・合板
t=24mm (450×1000mm) 1枚
- ・ゴム板
t=2mm、5mm、10mm 各適量

How to make

- 1 まずはスキー板を準備しよう。サイドカーブがキツイカービングスキーは、板を並べる際に隙間があくのでオススメできない。できるだけ1990年代以前、サイドカーブの少ない、まっすぐで技術力の差が出る時代の板を選ぼう。
- 2 板が揃ったらベンチのサイズを決めよう。板の幅は位置、種類によっても異なるので、レイアウトをしながら実測し奥行を決めることをオススメする。
- 3 実作業開始。決定したサイズに厚手の合板をカット。合板を囲うようにスチールのフラットバーで枠を組もう。合板の厚み、スキー板の厚み（最大値）を計測しスチール枠に合板を固定する横板を溶接する。溶接が難しい場合は、木材で枠を作れば簡単。

4 ベースができれば、ディスク・グラインダーでスキー板をカットし、センスよく並べていく。スキー板は繊維プラスチック、ウッドコア、メタルプレートなどの複合材。カットの際はゴーグルをするなど十分注意をすること。ソール面を使う場合は、お尻を傷つけないようにエッジを丸めておくことを忘れずに。

5 スキー板をカットしたら、いろいろな厚みのゴム板を合板との間に挟み、表面がフラットになるようにレベル調節をして、下穴を開け、合板に向かってビスで固定していく。

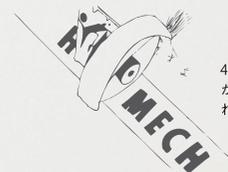
6 ベンチの脚は、既存の椅子を利用するもよし、オリジナルで作るもよし、お好みでOK。今回はスチールのフラットバーでベースを作り、カットしたスキー板をボルト・ナットで固定してある。

7 よ～し、あとは温かいコーヒーを準備、腰掛けて～、ずるっと滑り落ちなければ大成功！

スキーヤーズ・ベンチ 毎年1月は、雪にまつわるアイテム。つーことで今年1発目は、ず～っとやりたかった古いスキー板を古材に見立てたDIY。1990年代初頭までのスキー板は実に興味深いデザインのモノが多い。なので捨てられないで物置の奥の奥に大切なゴミになってるお宅も多いはず。今回は、ボクの私物と友人のいらないやつを使って、手軽なベンチに。材料がたくさん集まれば、あんなことにこんなこと、妄想は膨らんで仕方ない。壁一面に張り巡らせて、棚はビンディングを使って脱着可能に……防水素材だから外壁にもOK、鹿除けの柵を作っているツワモノもいるもよう……。



1. もちろんビンディングなど不要な部分は取り外しておこう。



4. どの部分を使うか。センスが試されるぞ！

はみだしのDIY

とある寒い冬の日、外は深々と雪が積もっていた。かもしれない。凍えた手を擦りながら入ったトイレは息が白くなるほど冷えきっていた。残念なことに、現代的な熟練入りの便座ではなく、薄いプラスチック製のやたらと白い便座だった。いきなり座る勇気はなく、尻と座の間に手を挟み時間をかけて落ち着くことにした。機分いつもより長い体勢づくりの間にフツと思ったのだが、電気でもなくともいい、木ならもう少しやさしく受け止めてくれるのではないかと……クラフトマンは皿や椅子など、生活にまつわるものを色々作るが、便座はあまり聞いたことがない……いつものように意味を持たない思いつきと天の邪鬼な精神は、私にノミを握らせ、便座を削り出す衝動へと駆り立てたのである。粗くノミの痕跡を残した、いかにも温かい表情をしたクラフト便座。オフグリッドな意識が薄れるなかでも私の尻はあの感触を忘れていない……。

ゲルチョコップ | D.I.Y.造形グループ。モリカワリョウタ、オザワテツヤ、タカハシリョウヘイがメンバー。今年の目標は「人の悩みを解消するDIY活動」。大きな悩みは無理なので、ささやかな悩みを募集中。当然ですが、あまり的確な答えは期待しないでくださいねw。

